

「家がいいね」 第190号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2020. 3. 3

梅は咲いたが



「小諸なる古城のほとり」
落梅集(1905)より 島崎藤村

あたゝかき光はあれど

かおり

野に満つる香も知らず

かす

浅くのみ春は霞みて

麦の色わづかに青し

旅人の群はいくつか

畠中の道を急ぎぬ

何と無粋な世の中でしょう。感染症をいたずらに恐れ、人の心をさらに荒(すさ)ませています。不安はネットやTVで感染拡大しているのです。コロナウイルス感染を発生した人を悪者扱いするのは間違っています。あの人が私だったかもしれない巡り合わせに気付けない人は不遜で不幸です。息を詰めて、人付き合いも避けて、自分の殻へ閉じ籠るのも、おかしな対処です。何でこんなに自粛が必要なのかも、私には分かりません。生活を自ら律して行くなら、必要なことは必要と言える勇気が要ります。互いに触れるのも大切なのに。

ウイルスと人の関わり



何時しかインフルエンザは治さなければならぬ病気と思っていませんか。ワクチンがあり、測定キットがあり、抗ウイルス剤があつて

も、基本的には身体の中で、ウイルスへの免疫系が日数を経て完成しないと、治癒には至りません。通常の風邪もウイルスですから、体力を温存しこじらせそうな時に医療に繋げる対処が基本です。知識や技術で解決しない所があるのですから、体の治す力を信じ行動しましょう。マスクも完全な防御にはなりません。花粉症の人に譲りましょう。

首相が責任を持ちます。説明などしません。

「首相がコントロールを」と何度も言いたい方です。2013年9月には南米のIOC総会に出かけ「今やフクシマはアンダーコントロール」と宣伝し、リオ五輪の閉会式にマリオに扮して登場した方です。



突然に小中高の休校を「首相として要請する」と言うのも一連の流れなのでしょう。東京五輪もコントロールしたくて、日本国を手玉にとります。感染症対策の原則を守れない行政(中身は脱法と言いつの政治)がリードしたのは根本から間違いでした。水際対策も甘く、クルーズ船対応も遅れに遅れました。科学的(公衆衛生的)な見地の人が全体統括しないと感染対策は破綻するのです。

チャップリン「独裁者」



地球儀をもてあそぶ有名な場面は、1940年作の映画です。第二次大戦を始めたヒトラーを痛烈に批判しています。チャップリン自身が資産も時間も注ぎ込み完成しました。日本では戦後まで公開されませんでした。昔から日本の行政は「知らしむべからず、依らしむべし」原則で、情報は隠蔽・小出し、臨機の対応変更はしません。戦争末期には、多くの兵を戦闘より飢えで死なせ、植民地に国民を棄民して責任を取らなかつたその歴史を、まだ忘れてはならないと思つのです。

休診日のお知らせ

土曜の臨時休診を、ご了承下さい。

3月7日



自宅での人生を
最期まで支援します

〒516-0805
三重県伊勢市御園町高向 927
電話 0596-20-8104
ファクス 0596-20-8105

メール homecare@kr.tep-ip.or.jp
<http://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可